

淡水真珠養殖技術指導事業

水本三朗・小林吉三

寺村哉一・吉原利雄

I 指導の目的

本県の特産産業である淡水真珠養殖事業は、最近数年間に急激な発展をとげその生産量も逐年増加の一途をたどり、昭和33年度においては約530kg（140メ）1億1千万円の大きさに達している。しかしこの養殖事業も最近においては従来よりの量的な生産から質的向上へ転換すべき段階にきており、手術養殖技術の改良によって良質な真珠の生産の必要にせまられている。又他方においては漁業協同組合が最近この真珠養殖事業をとりあげ新きに事業を開始したが、その技術については他の既存業者にくらべてはなほだしくたおくれた現状にあるので、速急にこれらを一般の技術水準にまで引きあげて正常な運営をはからなければならない状況にある。よってこれら業者に対してまづ第一に真珠養殖の一般的な基礎事項について講習を実施するとともに、初歩的段階にある漁業組合の真珠事業体については基本的な手術、養殖方法の実技実習指導をおこない、既存業者については当場の試験研究結果にもとづいた手術、養殖法の改良実習指導を実施して真珠養殖技術の向上をはかった次才である。こゝにその経過を報告し参考に供することとした。

尚講習会開催にあたって、解説、資料の助言および幻灯機用フィルムを提供等については国立真珠研究所、丹下学技官、映画フィルムの借用については滋賀県立短期大学農学部川崎健史教授の労をわづらわした。こゝに記して深謝する次才である。

II 指導の方法

淡水真珠養殖についての指導は今回が初めてのこゝろみであり、既存業者中にも実技の経験のみの者が大部分であるので、特に基礎理論の解説を充分にとり入れて指導することを重点と

した。

講習はまずはじめに受講者全員について基礎事項の解説講習会を開いた後、実技実習に移った。実技実習については事業経験の有無によって実習内容に差を生じるので経験者、初心者之别を設け指導効果をあげるため1回の受講者を10名前後にして組分けし、経験者は1日間、初心者は2日間の期間とした。

1. 基礎講習会

真珠養殖を実施するについての基礎的な事項、即ち母貝の生理、生態、真珠養殖についての理論等を図表、幻燈機、映画によって解説した。

2. 実技実習講習会

(1) 経験者実技実習

良質真珠を作るための手術、養殖技術の改良法について実習指導した。

(2) 初心者実技実習

手術、養殖法の基本、初歩的な事項についての実技実習

II 指導の内容

1. 基礎講習会

- イ、真珠関係解説 真珠の本質、真珠の種類等について
- ロ 母貝解説 真珠を作る貝、イケチヨウガイの特徴、生活史、生理等について。
- ハ 手術予備智識 無核有核手術の理論、良質真珠を作るための改良法等について。
- ニ、養殖方法 母貝の蕃養、手術貝の静養、養殖場の立地条件等について。

以上の諸項目について図表、幻燈機を使用して解説した。尙参考映画として「琵琶湖」「琵琶湖の魚貝類」を上映し参考に供した。

2. 経験者実技実習

(1) 手術法の改良指導

真珠品質決定の要素を支配する諸要因についての分析、検討を行い当面する問題としての品質の向上、特に形状と手術技術との関連性について解説するとともにこれらの実技について実習指導した。

(2) 養殖法の指導

漁場管理、養殖管理、母貝の処理法等についての指導

3. 初心者実技実習

(1) 基本的手術方法

イクテヨウガイの解剖，手術器具の取扱い方，手術方法の実際（外套膜切片のとり方，切片の挿入法等）母具の選び方，蕃養の方法等についての実習指導

(2) 養殖作業について

養殖方法のいろいろ；養殖中の管理方法についての実習

IV 指導の経過

項 目	実 施 月 日	受 講 人 数	
		実 人 員	延
基礎講習会	昭34 12月2日	121	121
経験者実技実習	1 昭34 12月7日	13	13
	2 35 1月11日	8	8
	3 12日	2	2
	4 13日	6	6
	5 26日	13	13
	計	5 日	42
初心者実技実習	1 昭34 12月3～4日	9	18
	2 9～10日	9	18
	3 16～17日	13	26
	4 22～23日	11	22
	5 昭35 1月18～19日	12	24
	6 21～22日	5	10
	7 25日	13	13
	8 27～28日	7	14
	9 2月 2～3日	10	20
計	17日	80	165
集 計	23日	延328人	

V 指導後の所感

1. 本県における淡水真珠養殖業は、母貝であるイケチヨウガイの産出が琵琶湖のみに限定されたもので本県のみの特有な産業であり、全国的なひろがりをもたないという特殊性もあり、又その発展のあとをふりかえてみても特異な経過をたどって発達した産業であるため、業者間では各自が暗中模索的に独自の方法で行って来た状態で、その基礎的な面についての智識は少なくもっぱら経験にたよるのみであったが、今回の基礎講習会によってこれに体系的なものをあたえ、かつ従来より抱いていた各自の疑問点を解明し得たという点で非常な効果と反響があった。

2. 真珠養殖事業において一般に中心的な作業過程とされる手術方法については、特に技能的性格が強くしたがってこの面における技術交流はほとんど行なわれず、各業者間に技術的な格差を生じている状況にあったが、今回の手術技術の公開指導、本場における研究成果による改良指導等によってこの手術技術の一般化、平均化を促進することが出来た。

3. このような手術技術水準の平均化によって真珠の品質をさらに進んだ条件、例えば養殖管理、漁場管理等において問題にする段階にたちいたったためこの方面の指導が今後の重要な課題となった。